

## 第2回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- **放送日** 令和6年6月25日(火)、7月2日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖環境研究センターの展示コーナー公開について」
- **出演者** 諏訪湖環境研究センター 総務部 小松 太一
- 聞き手とのやりとり(概要)

(Q1) 諏訪湖環境研究センターは今年4月に開所されたと聞きましたが、どこにあるのですか？

(A1) はい。センターは、岡谷市にある県の男女共同参画センター「あいとぴあ」の建物に研究室や展示コーナーを整備して、開所しました。周辺には、諏訪湖ハイツ、岡谷総合体育館などがあります。

(Q2) 諏訪湖環境研究センターはどのような施設なのですか？

(A2) 長野県の機関で、県内の川や湖の水質保全と生態系保全を一体的に調査研究していく研究所です。

(Q3) なるほど、センターでは水質保全と生態系保全の2つのテーマについて調査研究に取り組んでいくのですね。

(A3) そうです。例えば、諏訪湖では近年、ヒシが大量繁茂していて漁業や観光業などへの影響があります。ただ、ヒシによる水質の改善効果を考えますと、すべてのヒシを刈り取ることが必ずしも最善とは言えませんし、湖に棲む生物への影響も考慮する必要があります。このように、湖において水質と生態系のバランスをどのようにとるかをセンターでは調査研究していきます。

(Q4) 諏訪湖環境研究センターでは、このほかにどのようなことを行うのですか？

(A4) センターでは、調査研究のほかに、情報発信、また地域に根差した、住民の学びの支援に取り組んでいきます。情報発信では、さまざまな機関が実施している諏訪湖に関する調査結果をセンターのホームページからも発信できるよう今年度整備していくこととしています。学びの支援では地域の皆さんが自ら、諏訪湖について関心をもって学んでいただける場を提供していきます。

(Q5) 学びの支援とは、具体的にどのようなことを行いますか？

(A5) センターの1階のエントランスホールには、諏訪湖のなりたちや特徴、諏訪湖で起きた水環境問題について、主に小学校高学年以上の皆さまがわかりやすく学べるパネルなどを設置しています。そのほかに、ホワイエと呼ばれる展示コーナーには、専用タブレットを用いた体験型学習や諏訪湖の歴史や現在の取り組みなどを学べる映像展示

を用意しています。

(Q6) センターには様々な展示が設置されているのですね。エントランスホールとホワイエの展示はいつでも見学できるのですか？

(A6) エントランスホールについては、センターの開庁日の午前9時から午後4時であれば、いつでもどなたでもご覧いただけます。ただ、ホワイエの見学については事前予約制になっていますので、ご注意ください。

(Q7) では、ホワイエを見学するにはどのように予約すればよいか教えてください。

(A7) 長野県諏訪湖環境研究センターのホームページの中の「常設展示等の一般公開のご案内」をご覧くださいと、2通りの申請方法があります。「申込様式1」では、必要事項記入の上、センターあてに郵送していただくか、FAXにてお送りください。「ながの電子申請サービス」では、必要事項を入力いただき送信すると、予約ができます。

「ながの電子申請サービス」であれば、簡単に予約申請できますので、電子申請サービスの利用をおすすめします。

基本的にはご希望の日にお受けしたいのですが、予約状況やセンター内のイベントにより、ご希望の日時で予約いただけないことがあります。その場合には、センターから記載いただいたご連絡先に、予約日時の変更などのお願いをさせていただくことがあります。

ご不明な点があれば、電話 0266-78-0151 にご連絡ください。